

# 皆野・長瀨ロータリークラブ

## 週報

- ◇例会日 第1・第2木曜日 12:30~13:30 第3・第4木曜日のいずれか 18:30~19:30
- ◇例会場 長瀨レクリエーションホテル 養浩亭
- ◇事務所 〒369-1305 秩父郡長瀨町長瀨1446 養浩亭内  
Tel:0494-66-4134 / Fax:0494-66-4134  
e-mail:minanaga@chichibu.ne.jp
- ◇点 鐘 高田 富康会長
- ◇ソング 奉仕の理想



ROTARY:  
MAKING A  
DIFFERENCE

第1414回例会 平成29年10月8日(日)

# 棕神社例大祭

## 吉田龍勢の起源と由来

棕神社縁起「棕五所大明神由来」(1725)によると、「日本武尊」が奉持した鉾より発した光のさまを尊び、後生氏子民が光を飛ばす行事として、往古より神社前方の吉田川原で大火を焚きその燃えさしを力の限り投げて、その光でご神意をなぐさめ奉った。火薬が発明されるや、これを用いて火花を飛ばし現在の龍勢のもととなった。夜間見るときは星のごとく、よって流星と書き、昼間見る時は雲中に龍の翔るのごとく、よって龍勢とも書く。

現在の龍勢は松材を二つに割って、中をくり抜き、これに竹の籬をかけて火薬筒とする。この筒に硝石、炭、硫黄を原料にして黒色火薬を作り、きめ棒をかけやで打って詰め、最後に筒の底に錐でアナをもみ噴射口を開け、背負い物(しょいもの)と共に矢柄(長い竹竿)に組み付けて完成する。背負い物には、唐傘、のろせ、煙火、吊るし傘などがあり、上りつめた龍勢から放たれてひらひらと落ちながら秋空を彩る。これらの製法は各集落に近年まで伝わり、現在では火薬製造の資格を得た27の流派がこれを受け継いでいる。

- 昭和39年 吉田町(現在秩父市吉田) 民俗資料指定
- 昭和62年 全国市町村日本一時点選定
- 平成5年 サントリー地域文化賞受賞
- 平成9年 埼玉県無形民俗文化財指定
- 平成12年 埼玉100選選定





